

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

顧客を始めとする全てのステークホルダーとともに、社会課題や経営課題に主体的に取り組んで経済・社会価値を創り出す「価値共創パートナー」

業務粗利益
2,500億円程度

当期純利益
900億円程度

ROA
1.3%程度

ROE
3%程度

2 中長期の経営戦略

1. 投融資一体型ビジネスモデルの深化

業界再編・中堅企業成長サポート等で顧客起点案件を拡大し投資強化。投資ポートフォリオ経営でリスクテイク力向上。アセットマネジメント事業成長とM&Aアドバイザー強化

3. 機能強化のための人材育成・経営基盤整…

アセットバリュー等管理高度化。AI活用による生産性向上・業務高度化。総合力と専門力を両立する人材育成。海外ネットワーク強化

2. ナレッジ機能の更なる強化

グループ一体で産業・地域のナレッジ知見を蓄積・深化。中長期のあるべき姿を見据えた情報発信。サステナ経営等顧客成長に資するエンゲージメント拡大

4. 危機対応業務への取組

指定金融機関として危機対応業務を継続実施。東日本大震災・平成28年熊本地震・新型コロナウイルス感染症等で経験とネットワークを活かし対応

3 対処すべき課題

① 地政学・サプライチェーンリスク

- ・不確実性と構造変化への同時対応が必要
- ・顧客課題・プロジェクト推進への主体的取組が重要

② 産業・業界再編の加速

- ・業界再編・中堅企業成長サポート等で顧客起点案件拡大
- ・ナレッジ知見の蓄積・深化で課題解決支援

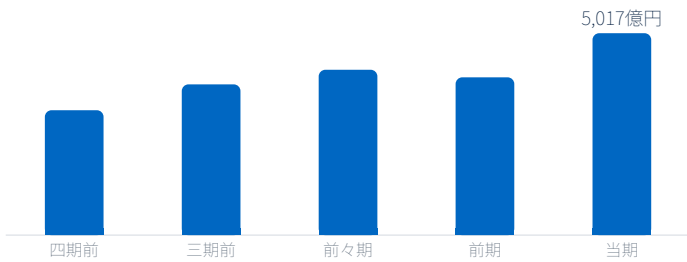
③ 生産年齢人口減少への対応

- ・人材育成を通じた経営基盤強化が必須
- ・総合力と専門力を高度に両立する人材育成推進

面接で使えるポイント

- ・DBJグループは3つの重点領域（インフラ・産業・地域）で社会課題に長年取り組んできた金融機関。
- ・東日本大震災、熊本地震、新型コロナなど危機対応業務での実績が豊富で、パブリックマインドを企業理念に掲げ社会貢献を重視
- ・投融資一体型ビジネスモデルとナレッジ機能強化で、単なる金融仲介ではなく「価値共創パートナー」として顧客と共に経済・社会価…

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
5,017億円営業利益率
－（未開示）財務健康度
19点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 58.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

